

製品名		お求めの機種を ○で囲んでください。		スクエアパワーエックスフィルター SPX-60 スクエアパワーエックスフィルター SPX-75 スクエアパワーエックスフィルター SPX-90	
お客様	おところ	〒			
	おなまえ	TEL			
※お買上げ日		保証期間		お買上げ日より2年	
※販売店	所在地名				

- お買上後2年間の保証期間内に説明書にそって正常にご使用いただいたにもかかわらず、万一故障した場合には無料で修理・調整いたします。修理・調整は、お買上げ店もしくは、弊社インフォメーションセンターにご連絡ください。
- 販売店、お買上げ日は販売店のレシートでも代用できます。
- つぎのような場合は、保証期間内でも適用外となります。
 - 1) 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷（機種不適合も含む）
 - 2) 不当な修理や改造による故障または損傷
 - 3) 火災・水害、雷、地震などの天変地異や、停電等による故障または損傷
 - 4) 飼育動物による故障もしくは損傷
 - 5) 本保証書に販売店名およびお買上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えた場合
 - 6) 本保証書を紛失された場合
 - 7) 消耗品（インペラー／ドライブマグネット・Oリング）、付属品、ろ過材などの消耗による損傷消耗品、付属品、ろ過材は保証対象外です。
※本保証書は再発行いたしませんので大切に保存してください。
- 本書は日本国内のみ有効です。

本品に万が一破損や部品不足などがありましたら、お早めに購入店が弊社までお知らせください。

- 製造上の原因による不良がありましたら、同等の新しい製品と取り替えいたします。
- 誤った使用方法、管理不十分による生体類の損失、家財類の被害に付いては、弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 品質向上のため、予告なく仕様変更する場合がございます。

スペクトラム ブランズ ジャパン株式会社
〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI横浜ビル
お問い合わせ ☎045-322-4330
受付時間：平日10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

テトラ ホームページ www.tetra-jp.com

202505

SQUARE
POWER

Tetra

保証書付

テトラスクエアパワーエックスフィルター SPX-60/75/90

取扱説明書



01 安全のため以下の事項を必ずお守りください

■この度は、テトラ スクエアパワーエックスフィルターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために必ず本取扱説明書をお読みいただき、理解していただいてからご使用をお願いいたします。

■保証書もご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているか確認のうえ、大切に保管をお願いいたします。

- 本品は趣味用の観賞魚飼育専用品です。活魚水槽や生け簀などの業務用での使用はしないでください。これらは保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 誤った使用方法、管理不十分等による事故、または魚・水草などの生体の病気、死亡、枯死等については、弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- なお本品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

警告

- 水中に手を入れる時には前もって水槽に使用している全ての器具の電源を切ってください。また、濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。
- AC100V電源のみお使いください。また変圧器などをご使用しないでください。
- 異常が発生した場合はただちに電源を切ってください。また、メンテナンス、移動などの場合には前もって電源を切ってください。
- パソコンやテレビなどの家電製品の近くに水槽やフィルターなどを設置しないでください。
- プラグの埃や汚れを放置せず、コンセントから抜いて除去してください。安全のため定期的に除去することをおすすめします。
- コンセントからプラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。手でプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、挟んだり束ねたりしたまま使わないでください。また、スイッチ取り付けなどの改造をしないでください。
- プラグやコンセントに水がかからないように、プラグの近くのコード部に水切りのたわみをつけてください。
- 定格オーバーや水漏れ感電事故などを防ぐため、タコ足配線や延長コードのご使用は避けてください。
- 子供やペットがいた ずらなどをしないよう十分にご注意ください。
- 引火性のもの(ガソリン、シンナーなど)の近くに使用しないでください。



たわみ部

注意

- 梱包などについては万全を期しておりますが、購入後は早めに破損や部品不足などがないかご確認願います。
- 本品は水面水位より必ず低い位置に設置してください。スクエアパワーエックスフィルターをセットする位置は、水槽水面とフィルター本体底の距離が50cm～150cm以内になるようにセットしてください。
- モーターヘッド位置が低いほど水の自然落下力(サイホン)が強まり、水が停滞しないので長く安定して循環します。またエアー混流や騒音も減ります。
- モーター過熱防止安全装置(サーマルプロテクター)を搭載しています。空運転によるオーバーヒートが発生した場合、停止することがあります。過熱の原因を取り除きモーター部の温度が下がれば復帰しますので、水の自然落下力(サイホン)が減衰していないか、目詰まりなどによる水の停滞が起きていないか、ホースが折れ曲がっていないか、本体やホース内に空気の層がないかどうか、加熱の原因を点検してください。復帰しない場合は購入店が弊社にご相談ください。
- 運転前に接続が正しいかどうか再確認し、運転後は水漏れや運転異常がないかどうか少なくとも1時間は監視してください。
- 日本国内限定、屋内仕様、観賞魚水槽専用ですので、それ以外に使用しないでください。
- 強度のしっかりした水平なところに設置してください。本体を横にしたり物を乗せたり被せたりしないでください。
- 電源コードやコイルは防水上、修理交換できない構造になっていますので大切に取扱いください。
- 本品には弊社純正ろ過材をご使用ください。またろ過材の詰めすぎは流量を低下させますのでご注意ください。
- ホースは最短距離で接続してください。長すぎますとホースの折れ曲がりや流水抵抗を起こします。
- 本体同士の連結や複数の水槽間での連結循環、断続運転やタイマー運転等はしないでください。
- 本製品に他のモーターや水中ポンプを接続しないでください。
- 各部の定期清掃や、パッキンなど消耗品を定期的に交換することによって、故障を減らしモーターの寿命を延ばすことができます。
- 万一の故障や事故に備え、エアーポンプによる通気や補助フィルターを準備してください。
- 海水魚や大型魚など強いろ過能力を必要とする観賞魚の水槽には、大きめの機種を選択してください。適合水槽は魚の数、環境により異なります。
- 稚魚・小魚や衰弱魚はストレーナーに吸引されることがありますので十分に注意してください。
- フィルターケース底部のゴムラバーにより、設置のあとが付くことがあります。フィルター設置場所にご注意ください。

Tetra Square Power X Filter



テトラ スクエアパワー エックスフィルター

SPX-60

テトラ スクエアパワー エックスフィルター

SPX-75

テトラ スクエアパワー エックスフィルター

SPX-90

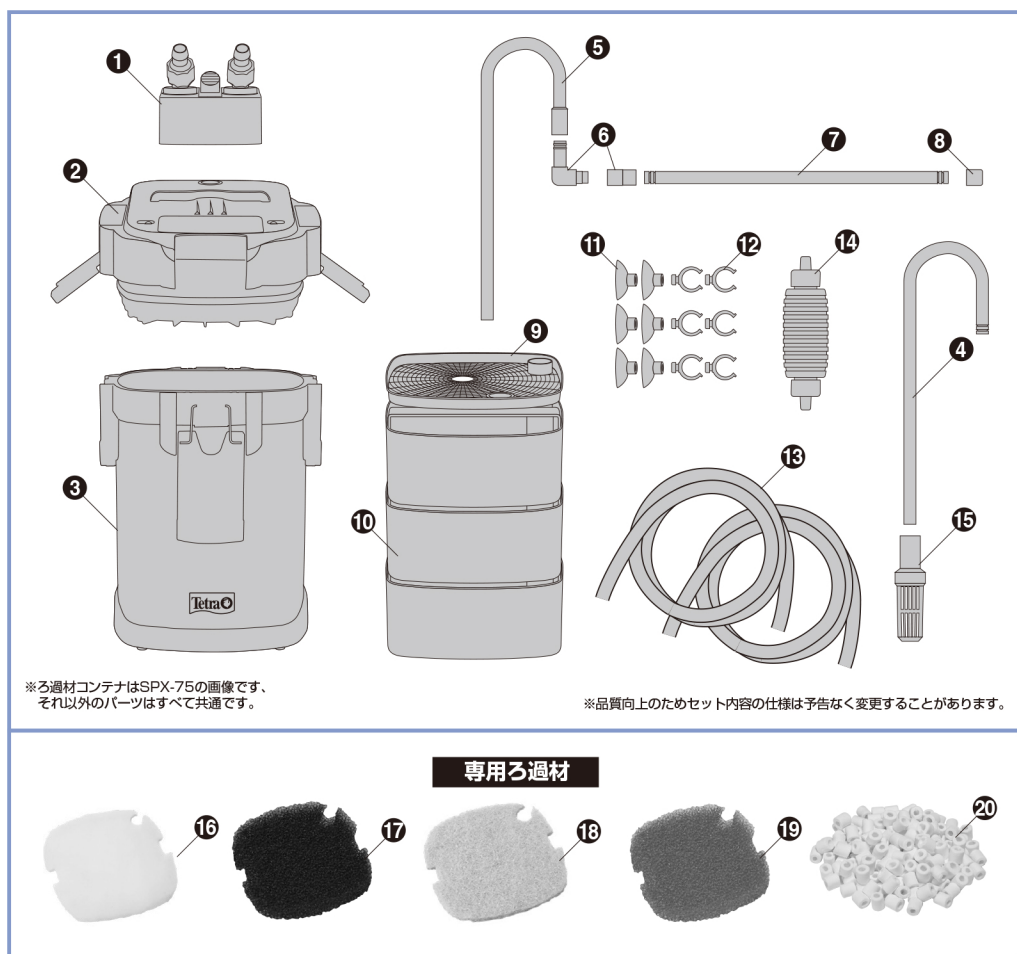
02 製品仕様

品 名	スクエアパワー エックスフィルター SPX-60	スクエアパワー エックスフィルター SPX-75	スクエアパワー エックスフィルター SPX-90
品番	78100	78101	78102
品名/用途	観賞魚用電気ポンプ応用器具 / 屋内観賞魚飼育用		
適合水槽サイズ	40～75cm 100L以下	60～90cm 150L以下	90～120cm 300L以下
本体サイズ(mm)	幅210×奥行210×高さ275	幅210×奥行210×高さ335	幅210×奥行210×高さ385
フィルター本体容量	4.0L	5.8L	7.0L
ろ過材コンテナ容量	1L×2コンテナ	1L×3コンテナ	1L×4コンテナ
定格電圧/周波数	AC100V 50Hz/60Hz共用		
定格消費電力(50Hz/60Hz)	6.3/7.6W	7.2/9.2W	
流量(50Hz/60Hz)	580/680ℓ/h	680/780 ℓ/h	
最大揚程(50Hz/60Hz)	1.75/1.8m		
ホース内径	12mm		
原産国	中国		

※適合水槽は、飼育魚種や飼育尾数により異なります。

03 各部品の確認 (セット前に必ずご確認ください)

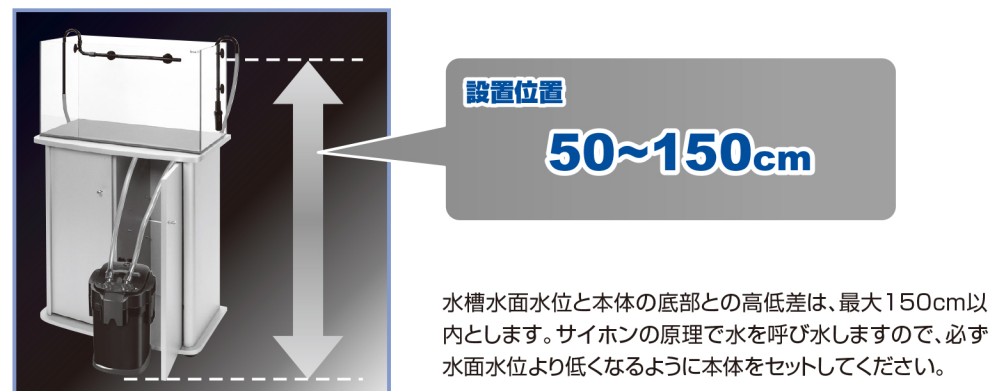
テトラ スクエアパワーエックスフィルター SPX-60/75/90



- | | | |
|-------------------|--------------------------------|---------------------|
| ① ホースアダプターユニット | ⑨ ろ過材固定盤 | ⑬ 吸・排水ホース 約1.5m x 2 |
| ② モーターヘッド(リング付き) | ⑩ ろ過材コンテナ (SPX-60x2/75x3/90x4) | ⑭ スターター(呼び水用ハンドポンプ) |
| ③ フィルターケース | ⑪ 吸着盤 x6 | ⑮ ストレーナー |
| ④ 吸水パイプ | ⑫ ショートクリップ x6 | |
| ⑤ 排水パイプ | ⑬ 吸・排水ホース 約1.5m x 2 | |
| ⑥ エルボーコネクター/ジョイント | ⑭ スターター(呼び水用ハンドポンプ) | |
| ⑦ シャワーパイプ | ⑮ ストレーナー | |
| ⑧ 止水栓 | | |
| | | ⑬ 吸・排水ホース 約1.5m x 2 |
| | | ⑭ スターター(呼び水用ハンドポンプ) |
| | | ⑮ ストレーナー |

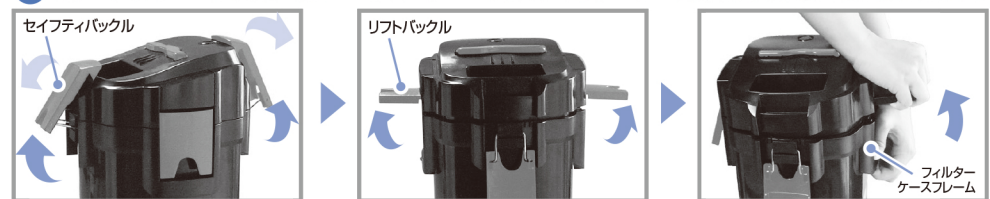
04 設置方法／ろ過材の確認

1 スクエアパワーエックスフィルターをセットする位置



2-1 ろ過材の確認

① スクエアパワーエックスフィルターのモーターヘッドとフィルターケース部を次の手順で取りはずします。



！ 指を挟まないようご注意ください。

② フィルターケース部からろ過材固定盤、ろ過材コンテナを取りだし、ろ過材を確認してください。



2-2 ろ過材の洗浄とセット

① すべてのろ過材を洗浄してください。



ろ過材をコンテナよりすべて取り出し、水道水などですべてのろ過材を軽くすすぎ洗います。(ビニール袋入りのグラスリングはビニール袋より取り出してご利用ください。)洗浄が終わりましたら再びコンテナ内に同じ順番でセットします。(セット順番はP.4参照)

❗ ビニール袋入りのろ過材は必ずビニール袋より取り出してご使用ください。

❗ セット時にフィルターケース内でコンテナ及びろ過材固定盤が斜めになっていないことをご確認ください。

② ろ過材コンテナをフィルターケースにセットします。



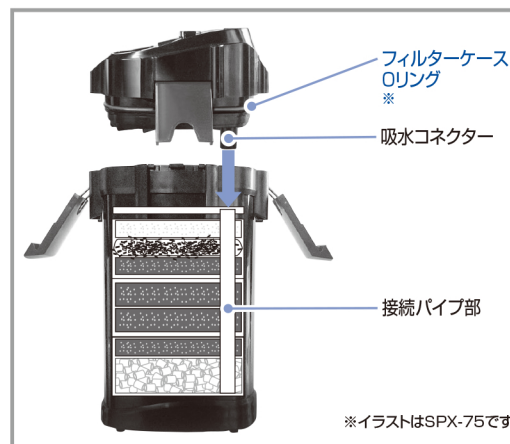
コンテナをフィルターケースにセットする時、コンテナの取っ手部分に記載されている「→(矢印)」マークをフィルターケースに記載されている「→(矢印)」部に合わせます。コンテナの接続パイプ部に合わせ、ひとつのパイプとして通じるようにセットします。

※コンテナ部の「→(矢印)」マークを必ず合わせてください。

※コンテナ及びろ過材固定盤が正しく水平にセットされていないとモーターヘッドとの接続が困難になり、水漏れや破損の原因になります。

3 モーターヘッドのフィルターケースへの装着

各パーツを正しく合わせましょう。



※イラストはSPX-75です。

モーターヘッドに装着されているフィルターケース Oリングが汚れていたり異物が付着していないかを確認します。モーターヘッドをフィルターケースに載せます。この時モーターヘッドの吸水コネクターが、ろ過材コンテナの接続パイプ部と合うようにします。

❗ モーター部の吸水コネクター部とろ過材コンテナの接続パイプ位置を合わせて、モーター部をセットします。位置が違っていると、モーター部とフィルターケース部は固定できません。

※水漏れ防止のため、フィルターケース Oリング(ゴムパッキン)が付いていることを必ずご確認ください。

4 モーターヘッドへのホースアダプターユニットの装着

① ホースアダプターユニットの取り付け。

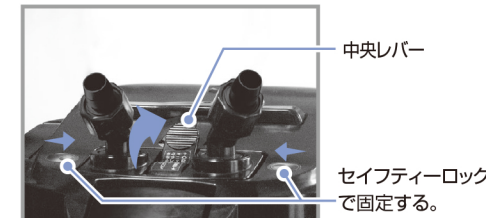


セイフティーロックを解除した状態にして、ホースアダプターユニットをモーターヘッドに装着します。

※水漏れ防止のため、ホースアダプターユニットの接続口に Oリング(ゴムパッキン)が付いていることをご確認ください。

❗ ホースアダプターユニットの取り付け方向を間違えないようにご注意ください。(モーターヘッド側とホースアダプターユニットの湾曲面を合わせてください。)

② ホースアダプターユニットを固定します。



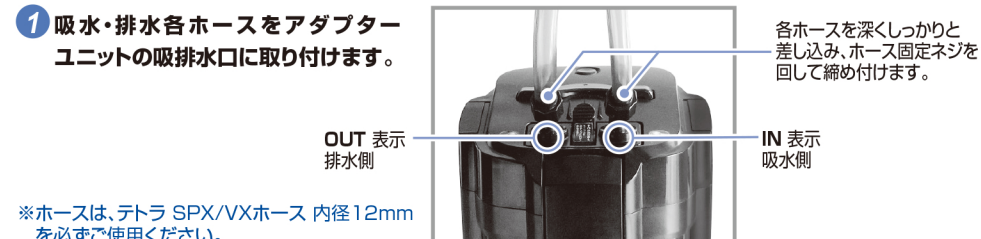
モーターヘッドにホースアダプターユニットをしっかり奥まで押し込み、セイフティーロックで固定します。装着したら、中央レバーをモーターヘッド中央に最後まで押し倒します。

❗ ホースアダプターユニットの天面とモーターヘッドの天面が同じ高さになっていることをご確認ください。しっかり奥まで押し込まれていないとロックがかからず抜けてしまう恐れがあります。

❗ 中央レバーはモーターヘッド中央に最後まで押し倒してください。

5 吸水・排水ホースの取り付け

① 吸水・排水各ホースをアダプターユニットの吸排水口に取り付けます。



※ホースは、テトラ SPX/VXホース 内径12mm を必ずご使用ください。

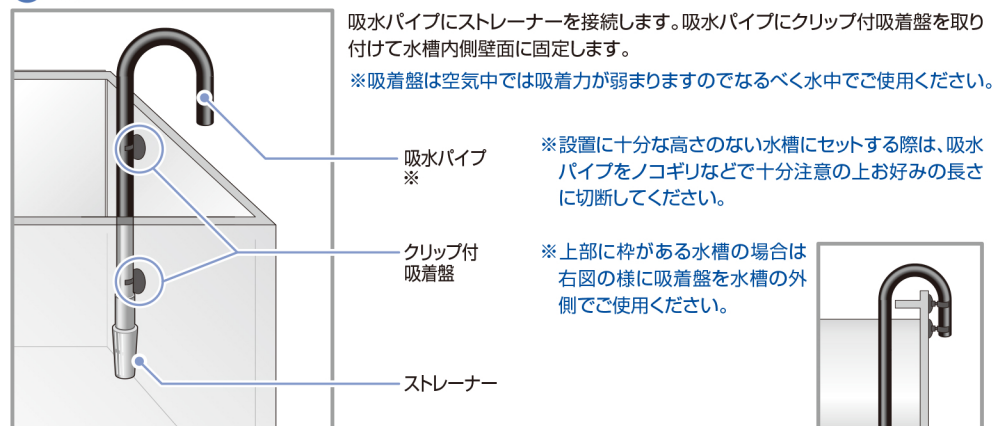
② 設置位置を再確認してください。

ホースの取付けができましたら、水槽水面とフィルター本体底部の距離が50cm～150cm以内になっているかどうかを確認します。



6 吸水・排水パイプのセット

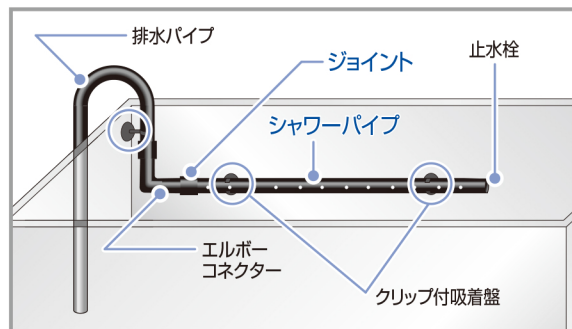
① 吸水パイプを取り付けます。



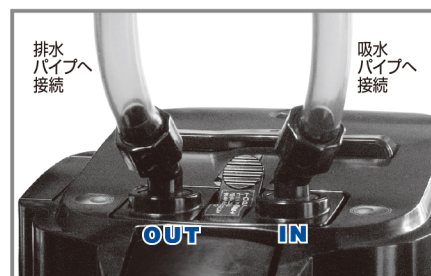
② 排水パイプを取り付けます。※シャワーパイプは呼び水時にはずします。

シャワーパイプを排水パイプ付属のエルボーコネクタのジョイント部に接続します。シャワーパイプは止水栓を付けて、クリップ付吸着盤で水槽壁面に取り付けます。

※一方向への強い水流を希望する場合は、シャワーパイプを取り付けないでください。



③ 吸水・排水パイプにホースを取り付けます。



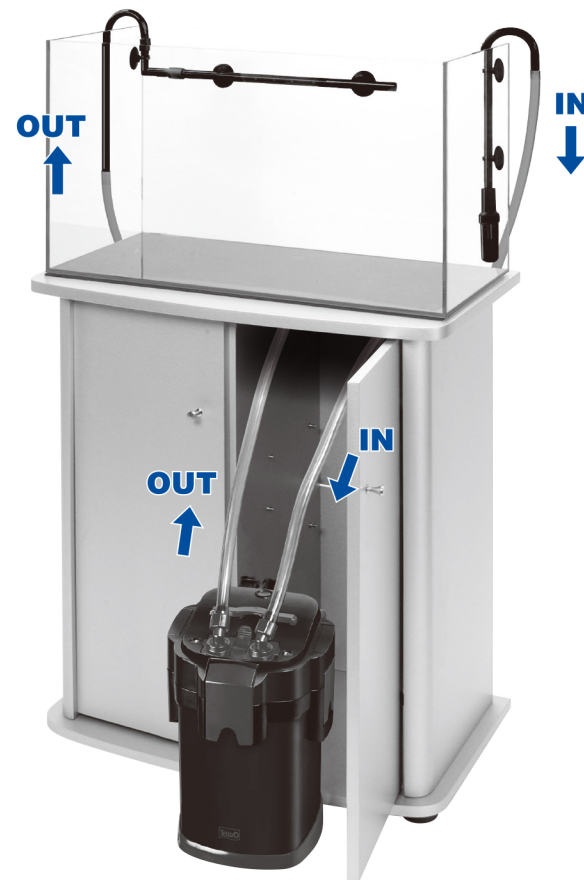
- ホースアダプターユニットの吸水側(IN表示)に取り付けたホースを吸水パイプにしっかりと差し込みます。
- ホースアダプターユニットの排水側(OUT表示)に取り付けたホースを排水パイプにしっかりと差し込みます。

- ❗ 吸水、排水パイプにホースをつなげるときは、抜けないようにしっかりと奥まで差し込んでください。
- ❗ ホースは途中で折れ曲がったりしないよう、なるべく短めに切断してください。ホースが必要以上に長いと流量低下の原因になります。
- ❗ IN、OUTは必ずご確認ください。

7 セット完了

すべての接続が完了いたしました。

※写真はテトラ スクエアパワーエックスフィルター SPX-75の60cm水槽へのセット例です。

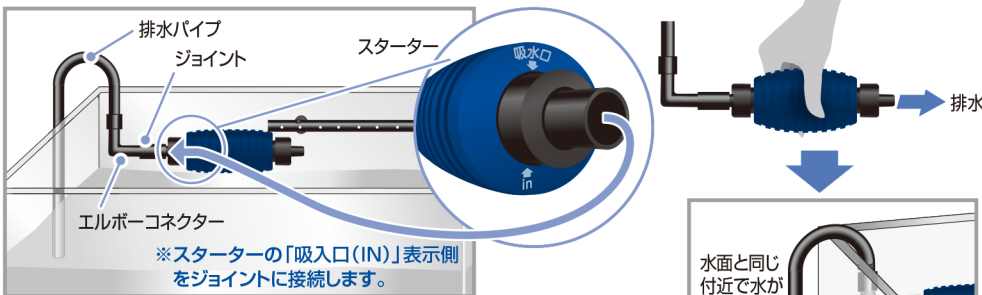


❗ セット完了後は、各接続部がしっかり接続しているかを再度ご確認ください。

1 スターター(呼び水用ハンドポンプ)を使用して呼び水を開始

スターターで水槽の水をフィルター部に呼び込みます。

注)フィルターケース内に水が入った状態では呼び水はできません。



シャワーパイプの手前にスターターを取り付けます。水が自然に呼び込まれるまで、スターターを素早く繰り返し押してください。サイホン効果により水槽の水が吸水側ホースからフィルターケース内に流れます。排水側ホースの水が水槽水面付近にまで上がると吸水が止まります。吸水が完了したら、シャワーパイプを排水パイプに接続します。この時、フィルターケースに引き込まれ減った水を足し水してください。

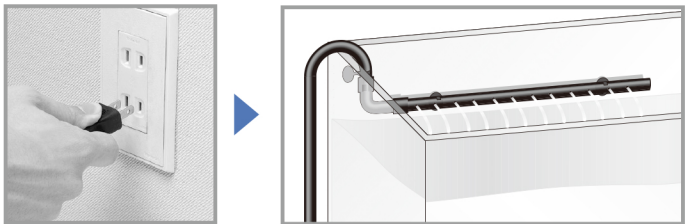
！ スターターで呼び水をするときは、フィルターケース内に水が入っていないことを確認してください。



！ スターターを使用する際は空気が漏れないようしっかりとジョイントに差し込んでください。

2 プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

電源を入ると、シャワーパイプより水が出ます。



※シャワーパイプより十分な排水量がないときは、プラグを電源コンセントより抜き、ホースの接続、折れ曲がりがないかどうかを再度確認してください。また、プラグを電源コンセントに差し込んだ状態で本体を軽く左右に揺らして内部のエアを放出するのも効果的です。

この時各部所に見漏れがないかどうかをチェックしてください。さらに30～60分後にフィルターが正常に作動しているか、水が漏れていないかどうかを再度確認してください。

※スタート直後はモーター内部にエアの残りが滞留するため運転音がする事がありますが、約24時間後には消えます。

3 流水量の調節方法

フードを与える時などのために、流水量を調節できます。

ホースアダプターの中央レバーで流水量を調節できます。流水量を減らす場合は、手前に倒します。通常使用時は、モーターの負荷を防止するために流水量大でご使用ください。

※流水量が極端に少ない場合、モーター部の冷却効果が低下し、モーターが停止してしまうことがあります。



目づまりや、汚れの付着によりフィルターの流水量が低下しないように1ヵ月に1度の頻度で点検・掃除を実施してください。

点検・掃除のときは水漏れに備えてタオルや防水シートを敷いて作業してください。

1 点検・掃除の前に

ご注意ください。



点検・掃除を実施するときは、水槽に使用している全ての器具の電源を切ってください。

2 ホースアダプターユニットをはずす

ホースアダプターユニットをモーターヘッドから取りはずします。



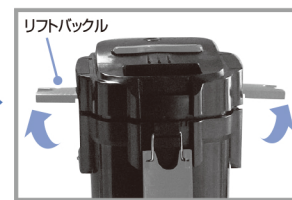
ホースアダプターユニットの中央レバーをホースアダプターユニット正面(写真手前側)に確実に引き起こし、吸水・排水の流れを止めてからセーフティロックを解除した状態にして、モーターヘッドから取り外します。

！ ホースアダプターユニット部をはずすときは、中央レバーを必ず引き起こしてください。不十分ですとホースより水が逆流することがあります。

3 フィルターを開ける



① グレーのセーフティバックルを下から上に持ち上げて固定を解除します。



② リフトバックルの下部を持ち上げて開きます。最後まで(90度)開くことによりモーターヘッドが少し持ち上がります。



③ リフトバックルの片側を掴み、フィルターケースフレームをおさえて上に持ち上げ取りはずします。

！ 指を挟まないようご注意ください。

4 フィルターケース内の各種ろ過材を洗浄

- ① フィルターケースより固定盤、コンテナを取り出します。



(写真はSPX-75です)

- ② フィルターケース内のろ過材を洗浄します。



取り出したコンテナの生物ろ過材に付着している汚れとゴミを、水槽の水か水槽の水と同じ水温のカルキを中和した水で洗い流してください。(この時、水道水で直接ろ過材を洗浄すると、ろ過材に付着・繁殖している過バクテリアを水道水のカルキ(塩素)で死滅させてしまいます。)

❗ 水道水での直接洗浄は厳禁。

❗ ウールマット、カーボンマット、アンモニアダウンは洗浄しての再利用はできません。1ヵ月に1度交換してください。

- ③ 各種ろ過材の役割とその交換時期。

ウールマット 物理ろ過材

細かな汚れを、目の細かい素材で物理的にろ過します。
1ヵ月に1度交換してください。

カーボンマット 物理・吸着ろ過材

カーボンが悪臭・にごりを吸着します。
1ヵ月に1度交換してください。

アンモニアダウン 物理・吸着ろ過材

魚に有害なアンモニア濃度を減少させます。
1ヵ月に1度交換してください。

粗目スポンジマット 物理・生物ろ過材

目の粗いスポンジにろ過バクテリアを繁殖させ汚れを分解、ゴミなども物理的にろ過します。交換の目安は、約6ヵ月に1度。

SPX-60 = 粗目スポンジマット × 1
SPX-75 = 粗目スポンジマット × 2
SPX-90 = 粗目スポンジマット × 4

グラスリング 物理・生物ろ過材

中まで水が通る連続気孔だから、バクテリアの繁殖を促す生物ろ過を行うと同時に、様々な方向を向いたリング状セラミックが大きなゴミなどを物理的にろ過しながら、水の流れを分散させて、フィルター全体に行き渡らせます。表面の汚れ(ぬめりなど)が洗浄しても除去できなくなりましたら交換してください。

交換用ろ過材のご案内

ろ過材の交換にはテトラ スクエアパワーエックスフィルター専用の交換用ろ過材をご利用ください。各ろ過材の交換の目安に合わせての交換をお勧めいたします。



品番: 78113

テトラ ウールマット SPX/VX60/75/90用

物理ろ過材

内容量

2 枚

交換の目安

1ヵ月に1度交換してください。



品番: 78112

テトラ カーボンマット SPX/VX60/75/90用

物理・吸着ろ過材

内容量

2 枚

交換の目安

1ヵ月に1度交換してください。



品番: 78111

テトラ アンモニアダウン SPX/VX60/75/90用

物理・吸着ろ過材

内容量

2 枚

交換の目安

1ヵ月に1度交換してください。



品番: 78110

テトラ 粗目スポンジマット SPX/VX60/75/90用

物理・生物ろ過材

内容量

2 枚

交換の目安

6ヵ月に1度の目安で交換してください。



品番: 78109

テトラ グラスリング SPX/VX/VAX/フリーウォッシュS,L用共通

物理・生物ろ過材

内容量

250ml × 2

交換の目安

洗浄しても汚れが除去できなくなったら交換してください。

※写真は現物と異なる場合がございます。

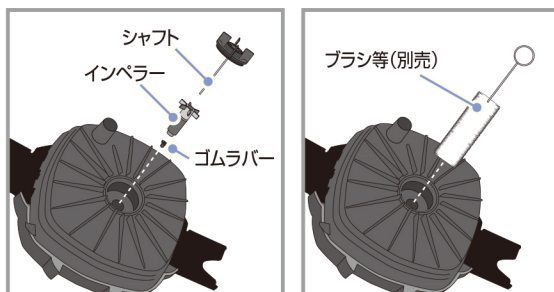
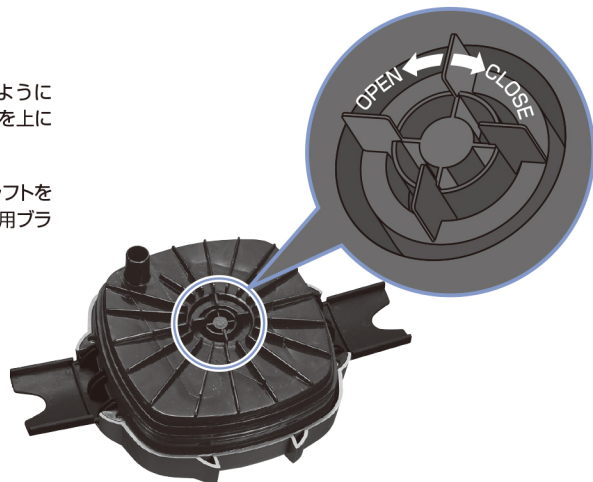
5 ホース内部や各種パイプの洗浄

ホースの内部や各種パイプにゴミやコケが付着すると、流水量の低下につながります。ホース内部やパイプ内部に水道などを利用し強く水流を流したり、市販のブラシ等(別売)を利用して、内部の汚れを洗い流してください。

6 インペラーケース部のメンテナンス

インペラーケース部を掃除します。

- ① インペラーケース部カバーを矢印のようにOPEN側(反時計回り)に回し、カバー部分を上に引き抜きます。
- ② インペラーケース内部のインペラーとシャフトをラジオペンチなどで引き抜き、市販の掃除用ブラシ等(別売)でこすり、洗浄します。
- ③ 掃除が終わりましたら分解した時と逆の順序で、インペラードライブマグネット、インペラーケース部のカバーをセットします。①に示した矢印のようにCLOSE側(時計回り)にロックが正常位置にはまるように押し込んでください。



※ 交換する時、先端のゴムラバーがモーターヘッド内に残ることがあります。その場合はピンセットなどで取り出してください。

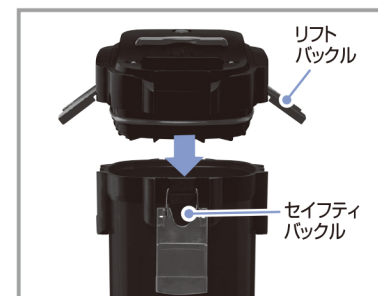
警告 メンテナンスの際はインペラーケース内をよく洗浄し、小石や砂利、貝殻などの硬いものが残っていないことを必ず確認してください。硬いものがインペラーケース内に入ったまま起動するとモーターに予期せぬ負荷がかかり、インペラーケースが破損する可能性があります。これにより、モーター部の発熱や火災の原因となることがあります。

7 モーターヘッドの装着

すべての掃除が終了しましたら、ろ過材コンテナが正しい向きにあることを確認し、モーターヘッドを装着します。



- ① フィルターケースに記載されている「→(矢印)」マークとろ過材コンテナの取手部分の「→(矢印)」マークが合っていることを確認します。コンテナ同士が密着し、接続パイプが一つのパイプとして通じていることを確認してください。
- ② 最上段のろ過材コンテナの上へろ過材固定盤を載せます。
- ③ モーターヘッドをフィルターケースに装着する前に、モーターヘッドの溝に取り付けられているフィルターケースOリングに、汚れや異物の付着がないか、また、フィルターケースOリングがモーターヘッドの溝から、はずれていないかを確認してください。汚れや異物の付着があると、水漏れの原因となります。フィルターケースOリングをチェックしたあと、モーターヘッドの吸水コネクターをコンテナ接続パイプに合わせて装着します。



※ 固定用のリフトバックルとセイフティバックル(グレー)の位置を確認し、正しい位置で4カ所を閉じてください。位置が違っていると、バックルは固定できません。

! モーター部の吸水コネクターとコンテナの接続パイプ位置を合わせて、モーター部をセットします。位置が違っていると、モーター部とフィルターケース部は固定できません。

8

ホースアダプターユニットの取り付け

1

ホースアダプターユニットの取り付け。



セーフティロックを解除した状態にして、ホースアダプターユニットの中央レバーをホースアダプターユニットより引き起こした状態でモーターヘッドに装着します。

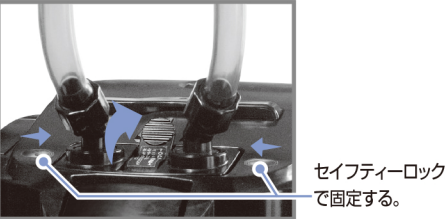
！ 中央レバーは取り付けるまで動かさないでください。

！ ホースアダプターユニットの天面とモーターヘッドの天面が同じ高さになっていることをご確認ください。しっかり奥まで押し込まれていないとロックがかからず抜けてしまう恐れがあります。

！ 中央レバーはモーターヘッド中央に最後まで押し倒してください。

2

ホースアダプターユニットを固定します。



モーターヘッドにホースアダプターユニットをしっかり奥まで押し込み、セーフティロックで固定します。装着したら、中央レバーをモーターヘッド中央に最後まで押し倒します。

9

呼び水・始動

ホースアダプターユニットの取り付けが終了しましたら、P.9 [05 始動方法] に従い呼び水を行った後、プラグをコンセントに差し込み電源を入れ始動させてください。

！ 呼び水をするときは、フィルターケース内に水が入っていないことを確認してください。

！ 始動後は各部所に水漏れがないか、また30～60分後にフィルターが正常に作動しているか、水が漏れてないかどうかを再度確認してください。

専用アクセサリー&パーツのご案内

インペラー／シャフト

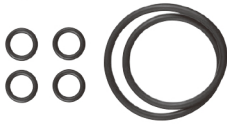
(内容物)
インペラー 1個
シャフト 1本
ゴムラバー 2個



品番	品名
78310	テトラ SPXインペラー/シャフト 60用
78311	テトラ SPXインペラー/シャフト 75/90用

フィルターケースオリング

(内容物)
フィルターケースオリング 1個
ホースアダプターユニットオリング 4個



品番	品名
78312	テトラ SPX/VXフィルターケースオリング 60/75/90用

ホースアダプター

(内容物)
ホースアダプターユニット(オリング付) 1個



品番	品名
78401	テトラ SPX/VXホースアダプター 60/75/90用

吸水パイプ

(内容物)
吸水パイプ 1本



品番	品名
78404	テトラ SPX/VX吸水パイプ 60/75/90用

排水パイプ・シャワーパイプセット

(内容物)
排水パイプ 1本
シャワーパイプ 1本
止水栓 1個
エルボークネクター 1個
ジョイント 1個



品番	品名
78405	テトラ SPX/VX排水パイプ・シャワーパイプセット 60/75/90用

ストレーナー

(内容物)
ストレーナー 1個



品番	品名
78403	テトラ SPX/VXストレーナー 60/75/90/120用

ホース

(内容物)
内径φ12mm × 3m



品番	品名
78406	テトラ SPX/VXホース3m 内径12mm

吸着盤・クリップセット

(内容物)
吸着盤 6個
ショートクリップ 6個



品番	品名
78407	テトラ SPX/VX吸着盤・クリップセット 60/75/90用

吸着盤

(内容物)
吸着盤 4個



品番	品名
78409	テトラ SPX/FPX/VX/VAX吸着盤 (4コ入)

スターター(呼び水用ハンドポンプ)

(内容物)
スターター 1個
ジョイント 1個



品番	品名
78408	テトラ SPX/VXスターター

※従来のバリューエックス/パワーフィルターシリーズのアクセサリーと共用品があります。

※写真は実物と異なる場合がございます。 ※小売価格は販売店にお問い合わせください。

■テトラ スクエアパワーエックスフィルター管理 主な異常とその見分け方、および処置方法は下記の表の通りです。

現象	原因	処置方法
モーターヘッドを フィルターケースに 装着できない	コンテナとフィルター部に記載されている「→(矢印)」マークの位置が違っている	コンテナとフィルター部の「→(矢印)」マークを正しい位置に合わせる
	コンテナ同士の重ね方不良	コンテナ接続パイプを互いにズレないように重ねる
	ろ過材の詰めすぎ	余分なる過材を取り除き、ろ過材表層を平らに整える
モーターヘッドから 水が漏れる	ホースアダプターユニットの装着不良	ホースアダプターユニットを正しく装着し直す
	リフトバックル、セイフティバックルをしっかりと閉じていない	すべてのリフトバックル、セイフティバックルをしっかりと閉じる
	フィルターケース部やOリングに異物や汚れが付いている	フィルターケース部やOリングをよく洗い、きれいにする
	フィルターケースOリング、またはホースアダプターユニットOリングの未着装、ズレ、損傷、劣化	Oリングの装着、あるいは交換
モーターが 回転しない	電源が入っていない	電源を入れる
	シャフトの折れ	インペラー／シャフトを交換する(※販売店にご相談ください)
	インペラーの欠落、または砂利や貝殻などの異物の詰まり	インペラーのセット、または駆動部分の掃除
水流が弱くなる	ホースアダプターユニットの汚れ	ホースアダプターユニットを取りはずし、内部を市販のブラシ等(別売)で掃除する
	ホース取り付け不良	ホースの折れ曲がりや、他の物にはさまれていないかチェックし直す
	ホース内部やパイプの汚れ	ホース内部を定期的に掃除し、吸水パイプや排水パイプを市販のブラシ等(別売)で掃除する
	吸水ストレーナーの詰まり	ゴミを取り除き、汚れを洗い取る
	ろ過材の目詰まり	ろ過材をコンテナから取り出し、水槽水で洗う
	付属以外のろ過材用ネットなどの使用	ろ過材を付属以外のネットやナイロンストッキングに入れて長期間使用しないこと。使用すると短期間で目詰まりし、水流を妨げる原因となる
	ろ過材の組み合わせ不良	取扱説明書通りにろ過材がセットされているかどうかチェックする(P.4参照)
	ウールマット(白)が汚れている	新品に取り替える
	モーター内部の汚れ	モーターヘッドの駆動部分や水路を丹念に市販のブラシ等(別売)で掃除する(日常のお手入れの頁参照)
	他社装置の接続	他社装置の接続は流量低下の原因となるので、ご利用はおひかえください

現象	原因	処置方法
エア어가たまる	本体の水面位置との高低差が十分でない	必ずP.4に示す設置位置を守り、水槽水面水位より低い位置に本体をセットする
	ろ過材の目詰まり	ろ過材を洗浄する
	ホースアダプターユニットの接続部よりエア어가混入している	ホースアダプターユニットを正しく装着し直す
	排水に対して吸水量が少ない	各ホースの長さを調整し、吸水と排水のバランスを整える
呼び水が うまくいかない	フィルターケースに水が入っている	呼び水時はフィルターケース内の水を抜く
	ホースアダプターユニットの装着不良	ホースアダプターユニットを正しく装着し直す
	本体と水槽水面位置との高低差が十分でない	必ずP.4に示す設置位置を守り、水槽水面水位より低い位置に本体をセットする
	フィルターケース内および排水部に接続されているホースやパイプ、各種機器内(クーラーやUV灯など)に水が残っている	フィルターケース内および排水部に接続されているホースやパイプ、機器内の水は必ず抜いてください
	スターターの向きが逆	スターターの接続する向きを確かめてください
運転開始時の 異常音	フィルターケース内にエア어가残っている	異常ではありません。 電源が入っている状態で、本体を軽く左右に揺らして内部に残っているエア어를放出させ24時間様子を見る
	ホース接続箇所からエア어가侵入している	ホース接続部をチェックし、しっかりと接続されているかどうかを確かめる
連続運転中の 異常音	呼び水が不十分なため、水が連続して流入していない(不十分な呼び水による流入水の停滞)	スターターを使って最初から正しくやり直す
	本体内部の空気残留	軽く本体をゆらし、空気を抜く
	インペラーあるいはシャフトの破損	部品を交換する(※販売店にご相談ください)
	10数秒ごとに1回シャーという音がして、排水パイプよりエア어가抜ける	シャワーパイプやエアerpomp(使用時)によって水槽内に発生する気泡や、CO ₂ 添加時の水中に溶けたCO ₂ がスクエアパワーエックスフィルター内にたまって排出される音で、故障ではありません
	インペラー部の水アカ・汚れや異物による流量の低下	モーターは水冷モーター型なので、駆動部に水アカや汚れなどを付着させたまま使用すると流水量を低下させ、モーターの寿命を短くします。定期的にインペラーやその収納部をパイプ／モータークリーナー(別売)で掃除する

※上記に該当しない場合は、テトラ製品販売店またはテトラ インフォメーションセンター(P.19参照)にご相談ください。
●品質向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。予め、ご了承くださいませようお願い申し上げます。